

# 第14号

# 本小の教育「授業研修会」

# ICT授業

## ●授業スタンダード期 『授業の型づくり期』

今回は、ICT教育の先進校である「与勝高校・緑が丘中学校」中高一貫校を視察してきた様子をお知らせしたい。与勝高校は、だいぶ以前から「生徒指導・優秀校」として視察を受ける高校であった。なぜなら、その校区である「与勝中学校」は、県内屈指の「生徒指導・困難校」であったからだ。現在では、本土国公立私立大学への進学率もUPの学校。中学校の「社会科」と「理科」の授業を参観させて頂いた。全クラス、一人一台のタブレットを使い、小集団での「対話的な深い学び」を展開している。流石にスゴイ中学生！



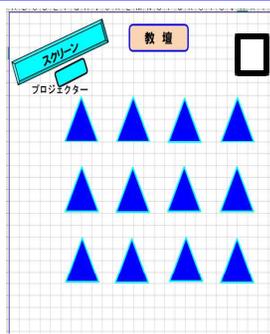
■ 県立 与勝高校・与勝緑が丘中学校 中高一貫校 [視察研]

### 【生徒の手(学習規律)】



■「社会科」の授業風景・中3・B組

### 【教室の色(支持的風土)】



- 各教室には、大型スクリーン、プロジェクターが常置。
- タブレットと充電ボックスも教室毎に常置されている。
- 社会科の授業は、基本、3人組の小集団で授業を実施。
- 理想は3人組が、対話的な活動は深まるとの事らしい。
- 学級39名、3人×13班で固定して「学び合い」を。
- 怠けたり、サボったりする生徒は、一人もいなかった。
- 先生に聴いた。普段からそうである。遅れる恐怖心有。
- 一人がテーマに即して発表する。他の二人が「評価」
- 評価のみで無く、「鋭い質問」も繰り出され、スゴイ！
- とにかく、清掃は徹底して行うそうである(下写真)
- 生徒会も自主的で、企画・立案・運営にも頑張ってる

### 【教師の眼(教師の姿勢)】



■「3人班」での「対話的・深い学び」



■「各教室」に大型スクリーン等常置 ●町教委の皆さんも「施設設備」を視察！



■「理科」の授業風景・中3・A組

### ■「GIGA スクール構想」⇒「Global and Innovation Gateway for All」の略

#### <ハード面>

- 児童生徒一人一台のコンピュータを実現。(1台4.5万円の補助)
- 高速大容量の通信ネットワーク、校内LAN整備(1/2を補助)
- 全国の学校がより容易に、より効率的な調達を国が支援する。

#### <ソフト面>

- デジタル教科書・教材、デジタルコンテンツの活用を促進する
- 各教科毎に、ICT機器を活用した「学習活動の例」を提示する
- AIドリルなど、先端技術を活用した、実証を充実(ガイドライン)

#### <指導体制>

- 教職員支援機構による指導者の講習会を各地にて充実させる。
- ICT活用教育アドバイザーによる、ワークショップの開催(各県)
- ICT支援員など、企業等の多様な外部人材の活用(4校に1人)



■「4人班」から「8人班での発表会」



### 【感想】「ICT視察研修(GIGA構想)」の「教科指導」授業を参観しての「雑感と提案」を兼ねて。

- 「最初は、理科の一教師からスタート。タブレット・ロイロノートを活用。生徒に一から教えながら」
- 「生徒は、どんどんICTを活用しての授業に慣れてくる。先生方も徐々に活用の輪が広がっていく」
- 「それが、校内研で取り上げ、ICTを活用した授業づくりが学校全体へと定着して行った事らしい」
- 「生徒達は、ICT機器を活用しながら『主体的・対話的な学び合い』へと進化し、深い学びが定着」
- 「本校も、先ずは『理科』で、そして『総合』で、そして『全教科』へと「つなぎ」「拡げて」移行！」
- 「各学年にICT担当を置き、学年会で、合同で、各教科でと繋ぎ、対話的な授業づくりを目指す」



校長より

